

## はじめに

平成 25 年 10 月に世界経済フォーラムがジェンダーギャップ指数を発表しました。日本の順位は前年よりも 4 ランク下がって 136 カ国中 105 位という残念な結果になりました。

日本の男女共同参画を進めるための『第 3 次男女共同参画基本計画』では『2020 年 30%』目標（社会のあらゆる分野において、2020 年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも 30%程度になるよう期待する）の達成に向けて取組みの強化と加速が不可欠であるとされています。また、現在、安倍内閣が経済再建に向けて展開している「三本の矢」のひとつである「成長戦略」でも、女性の活躍が重視されています。「女性が輝く日本へ」というスローガンが掲げられており、女性の活躍促進はまさに焦眉の課題だと言えるでしょう。

『NWEC 実践研究第 4 号』では「女性リーダー」をテーマに取り上げました。企業や NPO 法人、団体における女性リーダーの具体的な事例を論文として掲載しています。国立女性教育会館も昭和 52 年の開館以来、全国の女性センター、男女共同参画センターなどの女性関連施設や女性団体のリーダーを対象とした研修を実施してきました。これまでの国立女性教育会館の取組みや現在実施している基幹的指導者を対象とするリーダー研修やその他、国立女性教育会館が実施している事業の報告も併せて掲載しています。女性リーダーの育成を進め、地域の男女共同参画を進める上で『NWEC 実践研究』を広くご活用いただければ幸いです。

国立女性教育会館では、平成 24 年 8 月に出された「国立女性教育会館の在り方検討会」の報告書をベースに事業を展開しています。各分野の男女共同参画リーダーへの学習支援を通じて、政策や組織の意思決定場面への女性の参画を拡大することを方針に事業を見直しています。これまで

NWEC の事業の対象としてこなかった企業向けセミナーを実施するとともに、平成 25 年 8 月に開催した「男女共同参画推進フォーラム」では、大学、企業、行政、NPO の女性リーダーによる「女性リーダーらんざん会議」を実施し女性の活躍促進についての議論を深めるなど、新たなプログラムにチャレンジしました。

NWEC 職員一同、新たな方向に向けて努力しておりますので、引き続きあたたかいご指導をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

独立行政法人国立女性教育会館 理事長 **内海 房子**